



品川区議会第一回定例会 開催中



大井町駅の真上を通過する航空機の姿

2月21日より第一回定例会が開会され、27日の区議会建設委員会では住民らが品川区議会に提出した羽田新ルート中止・撤回等を求める請願・陳情14件が審議されました。

運用開始から3年目
羽田空港への着陸機が都心・品川を通過する羽田新ルートは運用から、今年3月末で3年目。この間、区議会には毎定例会のように運用中止を求める請願・陳情が提出されています。この3年で区議会に提出された請願・陳情は合計で14件。今回の審議は任期最後の委員会でもあり、約20名の傍聴がありました。共産党は騒音など住環境の悪化や多くの住民から計画中止を求める声が寄せられていること等を述べ、採択に賛成しました。

ところが自公は継続を主張。今回の継続とは、4月の区議選挙のため廃案となるもので、これは事実上の否決を意味します。自公の姿勢は住民の声に背を向けるものではないでしょうか。委員会では自民区議は「国策だから」「アンケート調査を待ちたい」と、その理由を説明します。

区政のチェンジを
しかし国策だから区議会には意見を言うべきではないとは、こんな事では航空機公害による区民の苦しみが今後も続いてしまいます。アンケートについても賛否を問う設問はありません。やはり国に羽田新ルート中止を求める品川区政へ、チェンジが今こそ必要です。

羽田新ルート中止等の請願・陳情 自公が廃案、事実上の否決に

今回もまた、区長の 反対表明、無し

羽田新ルートを巡って、森澤区長の姿勢にも注目が寄せられています。

共産党は「区長はなぜ反対を表明しないのか」との質問を続けています。

昨年12月の第四回定例会では、区長は本会議の答弁にたまたず、かわりに部長が「反対、賛成ではない。多様な意見がある」と答弁



しました。

今回の第一回定例会では、森澤区長は答弁にたちましたが、最後まで羽田新ルートへの反対表明はなく「全区民アンケートを実施し、分析したい」と述べました。都心を通過する羽田新ルート。最も住宅地を低空飛行する地域が品川区です。それだけに品川区長と品川区議会の反対表明は計画を止める決定打です。

大井町駅前で宣伝

2月23日には、羽田新ルートに反対する品川区議会議員等で構成する議員連盟と市民団体との共同宣伝が大井町駅前（上写真）で行われ、共産、立憲、ネット、れいわの4政党が参加。住民団体とともに中止をアピールしました。

引き続き、共同の輪も力に羽田新ルート中止へ全力をあげます。なかつか亮

食料品、公共料金の相次ぐ値上げ


物価上昇から区民の暮らしを守る緊急対策を



長引く物価上昇が家庭の重い負担に。日常生活にかかせない食料品や公共料金まで次々と値上がりし、特に所得の少ない家庭に深刻な影響をもたらしています。

そこで共産党は国に消費税の減税を求めることや、年収200万円以下の家庭やひとり親家庭に対し、臨時給付金の支給、光熱費補助の実施など緊急対策の実施を区に提案しました。

品川区は「国の動向を注視したい。支援は現在のところは考えていない」と説明しました。暮らしを応援する品川区へ、引き続き力を注ぎます。

なかつか亮 1975年西大井生まれ／47歳／伊藤小、富士見台中、農大一高卒／イタリア料理厨房6年／27歳初当選／区議5期／予算・決算委員会副委員長を経験、現区民委員会委員長／党区議団前幹事長／家族：妻／29号線取消裁判原告／趣味：旅行 

なかつか亮の駅前宣伝 火曜日朝7時半～大井町駅、金曜日朝7時半～西大井駅、土曜日夕方4時～大井町駅
スタッフ募集：区政報告を駅前宣伝で配布して頂ける方を探しています。少しの時間だけでも助かります。